記者発表資料

平成２１年１２月２２日
東 北 地 方 整 備 局

東北で新たに３ルートの風景街道を登録しました！

東北風景街道協議会(会長：藤﨑三郎助東北経済連合会副会長)は、１２月１８日、エル・パーク仙台で開催された第５回東北風景街道協議会において、道を舞台に景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かし、観光振興や地域活性化を目指す「日本風景街道」に、**平成21年度に登録申請のあった３ルートを登録しました**。

これにより、東北の風景街道は、昨年度までに登録した１７ルートと合わせて**計２０ルート**となります。

東北風景街道協議会では、登録ルートに対し、地域の魅力向上に向けた様々な活動を支援してまいります。

■新規登録された３ルートは以下のとおりです。

- **十和田奥入瀬浪漫街道（青森県）**
- **奥州街道と縄文のみち（青森県）**
- **黄花紅の東むつ湾ルート（青森県）**

・日本風景街道とは

道を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした美しい国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としています。

・東北風景街道協議会とは

東北ブロックの風景街道の登録申請受付や登録の審査、活動支援などを行うことを目的とし、平成１９年９月６日に設立しました。（協議会委員は別紙参照）

東北の風景街道については、東北地方整備局ホームページにも掲載しております。

http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/touhoku_fuukeikaidou/

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、
青森県政記者会〉

【問い合わせ先】
東北風景街道協議会事務局
東北地方整備局　道路部　　電話：022-225-2171

道路計画第二課 課　長　　舟山（ふなやま）　和重（かずしげ）（内線 4251）
道路計画第二課 建設専門官　　本木（もとき）　雅信（まさのぶ）（内線 4256）

十和田奥入瀬浪漫街道

NO.1　TOUHOKU

活動目的

十和田湖・奥入瀬渓流の自然が織り成す美しい景観をより惹きたて、豊かな自然の恵みによって得られる食や温泉、自然体験を通した癒しの時間を誰もが風景の感動とともに味わえる街道づくりを目指すものである。

中心となる道路および活動範囲

◆JR七戸十和田駅～国道4号経由十和田市官庁街通り、国道102号～奥入瀬十和田湖ルートとその周辺エリア
◆JR七戸十和田駅～国道4号経由国道45号～おいらせルートとその周辺エリア
◆JR七戸十和田駅～国道394号～国道103号、国道102号～奥入瀬十和田湖ルートとその周辺エリア



構成団体　～風景街道パートナーシップ～

名称：十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会
（代表者：渡部　毅）

【道路管理者以外の組織】
七戸町、六戸町、おいらせ町、十和田市観光協会、七戸町観光協会、六戸町観光協会、おいらせ町観光協会、十和田市商工会議所、十和田湖商工会、七戸町商工会、六戸町商工会、おいらせ町商工会、十和田湖ふるさと活性化公社、十和田湖国立公園協会、十和田湖温泉郷町内会、十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会、(社)青森県建設業協会上北支部建設経営研究会(三K会)、十和田青年会議所、上北森林組合、JA八甲田農業協同組合、JA十和田おいらせ農業協同組合、県立十和田西高校、稲生川土地改良区、奥瀬堰土地改良区、十和田市町内会連合会、東北電力(株)十和田営業所、(株)七戸物産協会、奥入瀬川クリーン対策協議会、NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

【道路管理者】
国土交通省青森河川国道事務所、青森県上北地域県民局、十和田市

十和田奥入瀬浪漫街道

NO.2 TOUHOKU

地域資源

■景観資源
八甲田連峰や八幡岳の雄大な山々の眺望、奥羽種畜牧場のつつじロードと広々とした放牧場や田代平高原などの風景、松と桜並木の十和田市官庁街通りと広々とした田園風景、舘野公園の二千本の桜と水辺風景　など

■自然資源
八甲田連峰、蔦沼、十和田湖、奥入瀬渓流　など

■歴史資源
十和田市立新渡戸記念館、旧苫米地家住宅　など

■文化資源
十和田市現代美術館　など

■体験・交流資源
東八甲田ローズカントリー、東八甲田家族旅行村　など

■施設・情報資源
十和田湖温泉郷、蔦・猿倉・谷地温泉、道の駅「奥入瀬」ロマンパーク



▲奥入瀬渓流
日本を代表する景勝地。全長14kmの散策コースは、各々のペースに合わせた気楽な散策ができる。



▲八甲田連峰
奥羽山系の八甲田連峰など、パノラマ展望的な雄大な景観が楽しめる。国道394号沿いからも眺望することができる。

活動内容



▲ボランティアガイド

- フラワーゾーンの整備（H21～H23）
- 案内看板等検討（H21～H23）
- ビューポイント選定、整備（H21～H22）
- 休憩・案内施設設置と整備（H21～H25）
- フォーラム、講演会の開催（H21～H25）
- 地場産品の商品開発（H21～H25）
- カーボンオフセット活動（H21～H25）
- 体験学習活動の展開拡大（H21～H25）

など

平成９年に十和田・奥入瀬観光ボランティアの会を設立し、観光ガイド、情報提供、PR活動を行っている。

今後のスケジュール

事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
花、木の植栽など	■	■	■		
案内板・誘導看板設置	■	■	■		
休耕田の活用	■	■			
休憩場所へのイス、テーブル設置	■	■			
オープンカフェ開設、足湯の整備		■	■	■	■
ビューポイント整備	■	■			
十和田湖畔(宇樽部)の景観阻害木の除去	■	■			
景観づくりフォーラム等開催	■	■	■	■	■
景観ガイドラインの作成	■	■			
花壇、景観等コンクールの実施	■	■	■	■	■
自然ガイド養成講座の開設	■	■	■	■	■
体験場所の整備及び体験学習活動展開拡大	■	■	■	■	■
特産品等の商品開発及び販路の拡充	■	■	■	■	■
環境保全対策(カーボンオフセットなど)	■	■	■	■	■

奥州街道と縄文のみち

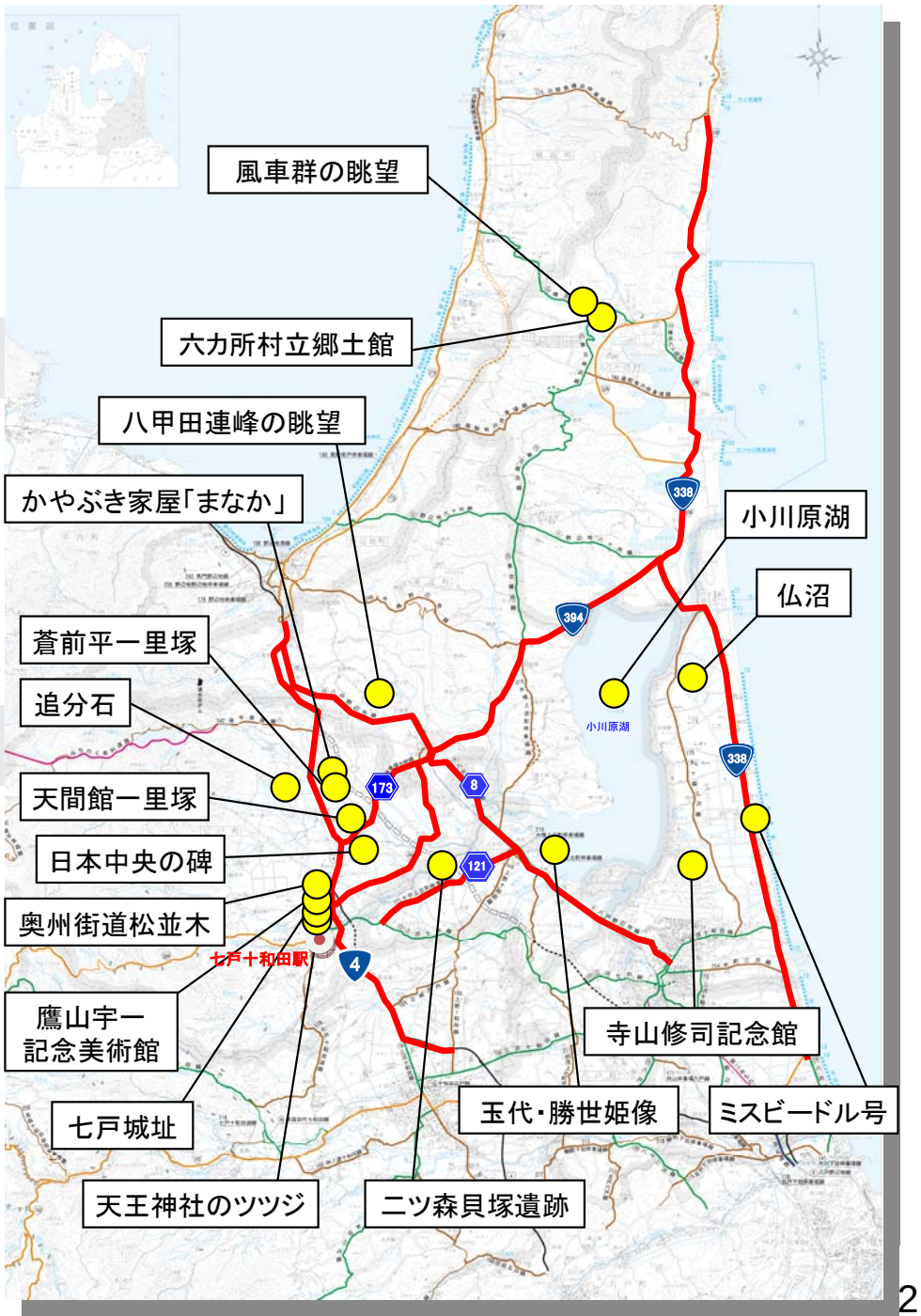
NO.1 TOUHOKU

活動目的

上北地域の自然特性である地形・海・湖沼・気候が織りなすこの地域の特産品『食・温泉』を楽しみ、そして人と触れ合うことで、上北地域の魅力を満喫して貰える地域づくりをすすめる。

中心となる道路および活動範囲

◆奥州街道・縄文エリア: 新幹線七戸十和田駅～東北町～六ヶ所村（物見崎海岸）に至るルートとその周辺エリア
◆太平洋・ウインドミルエリア: 六ヶ所村（物見崎海岸）～三沢市（淋代海岸）へ至るルートとその周辺エリア
◆小川原湖・仏沼エリア: 新幹線七戸十和田駅～東北町～三沢市（小川原湖周辺）へ至るルートとその周辺エリア



構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称：奥州街道と縄文のみち運営協議会
（代表者：山田　美津雄 ）

【道路管理者以外の組織】
NPO 法人 アルキメデス、小川原湖191 里づくり協議会、
上十三広域連携塾、東北町観光協会、
東北町特産品販売推進協議会、あおもりかいどう会議、
NPO法人マンパワー、NPO法人シーファンデーション、
NPO法人テイクオフ三沢

【道路管理者】
国土交通省青森河川国道事務所、青森県上北地域県民局

奥州街道と縄文のみち

NO.2　TOUHOKU

地域資源

■景観資源
奥州街道松並木の歴史観あふれる風景、八甲田連峰・八幡岳の彩ある四季の眺望、小川原湖・仏沼・太平洋の朝・夕のコントラストな光の演出、風車群の未来を見据えた眺望

■自然資源
七戸町天王神社のツツジ、太平洋上に繰り広げられる光のペイジェント光柱現象　など

■歴史資源
七戸城址、天間舘一里塚、蒼前平一里塚、追分石、二ッ森貝塚遺跡、日の本中央の碑、ミスビードル号発信地　など

■文化資源
鷹山宇一記念美術館、天王つつじまつり、玉代・勝世姫像、おがわら湖 湖水まつり　など

■体験・交流資源
かやぶき家屋「まなか」、六ヶ所村立郷土館　など

■施設・情報資源
道の駅「しちのへ」「おがわら湖」「みさわ」、寺山修司記念館　など



▲一里塚（蒼前平）
全国の一里塚の中では最もよく保存されていると言われている。県史跡に指定。



▲ラムサール条約登録地「仏沼」
夕方にはオオセッカのさえずりとともに、八甲田連峰の夕陽が溶け込む。

活動内容

- 地域資源の再確認・調査（H21～H25）
- 沿道植栽計画検討・実施（H21～H25）
- 縄文遺跡PR事業実施（H21～H25）
- 奥州街道利活用計画検討・実践（H21～H25）
- バスツアーの検討・実施（H22～H25）　など



◀奥州街道完歩ツアー
平成17年度より数年かけて上十三地域※の奥州街道を全て踏破し、「上十三地域歩ける奥州街道情報」の作成を目的として開催している。
※上北郡、十和田市、三沢市の頭文字を取って「上十三地域」という。

今後のスケジュール

事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
地域資源の再確認・調査					
沿道植栽設置場所の検討					
新規及び既設沿道植栽実施					
縄文遺跡PR事業の実施					
奥州街道利活用計画					
奥州街道利活用実践					
風景街道と関係市町村の協働					
清水マップの為の調査および作成					
エリア協議会のワークショップの開催・ルートPR					
風景街道バスツアーの開催					
市町村ツアーガイド養成と実践計画					
ツアーガイド実践・実施					
市町村周遊・福祉バス等の路線調査及び市町村協働によるバス運行の可能性の検討					
周遊・福祉バスの実践ツアー開催					
七戸十和田駅からのバス・ツアーの実施					
水環境の保全と水に関わる事業					

黄花紅（おうかくれない）の東むつ湾ルート

NO.1 TOUHOKU

活動目的

地域の人々が誇りを持ち「食」や「歴史」「伝統文化」の資源をさらに磨きあげ、訪れる人々に感動を与える景観づくりを推進する

中心となる道路および活動範囲

国道4号野辺地町周辺～国道279号十符ヶ浦～杜の踏切までの野辺地線、国道279号杜の踏切～下北ドライブインまでの横浜線とその周辺エリア

構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称：黄花紅の東むつ湾ルート景観づくり運営委員会
（代表者：鳥山　洋一）

【道路管理者以外の組織】
野辺地町観光協会、野辺地町商工会青年部OB 会、野辺地町観光史跡ボランティア会、横浜町観光協会、大豆田土地改良区、NPO 法人エッグ、NPO 法人菜の花トラストin 横浜町

【道路管理者】
国土交通省青森河川国道事務所、
青森県上北地域県民局



黄花紅の東むつ湾ルート（おうかくれない）

NO.2 TOUHOKU

地域資源

■景観資源
のへじ海浜公園十符ヶ浦海水浴場、三保野公園、大豆田ゆとりの駐車帯、繁殖牧場、横浜町砂浜海岸、国道279号沿いの菜の花畑

■文化資源
のへじ春まつり、のへじ祇園まつり、旧野村家住宅離れ（行在所）、菜の花フェスティバル、幸田露伴・大町桂月歌碑、ホタル村

■歴史資源
日本最古の防雪原林、常夜燈、南部・津軽藩境塚、横浜町八幡神社

■体験・交流資源
国設野辺地まかど温泉スキー場

■施設・情報資源
野辺地町観光物産PRセンター、道の駅よこはま菜の花プラザ



▲国道279号沿いの菜の花畑
国道沿いから見える菜の花一色に染まった広大な畑は、なだらかな丘陵地を背景に、懐かしい原風景を見ることができる。



▲常夜燈
1827年に野辺地町の廻船問屋野村治三郎が建てたと言われ、国内に現存する中ではきわめて古い。現在は野辺地の浜町にあり案内看板が設置されている。

活動内容

- 植栽活動・清掃活動（H21～H25）
- 観光名所やビューポイントなど休憩所の整備（H21～H23）
- 地域の自然、歴史、文化の保護・PR活動（H21～H25）



▲菜の花畑の整備
通年事業として「休耕地を菜の花畑に大変身プロジェクト」を実施している。



▲ボランティアガイドの派遣
平成18年より野辺地町の観光や史跡、文化財の見学を目的とした来町者及び各種団体に対しボランティアガイドの派遣を実施している。

今後のスケジュール

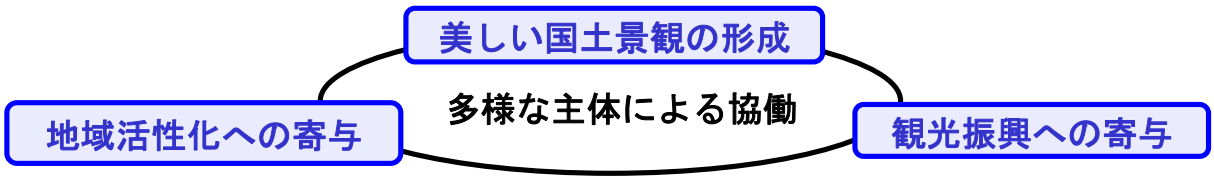
事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
休耕田を菜の花畑に大変身プロジェクト	■	■	■	■	■
はまなす移植作業、苗植え込み	■	■	■		
キングサリ種植え、挿し木作業	■	■	■		
休憩場所へのベンチ設置	■	■	■		
沿道＆海岸のゴミ拾い	■	■	■	■	■
看板、案内板の整備	■	■	■	■	■
景観診断、普及PR活動	■	■	■	■	■

日 本 風 景 街 道

日本風景街道とは

目 的

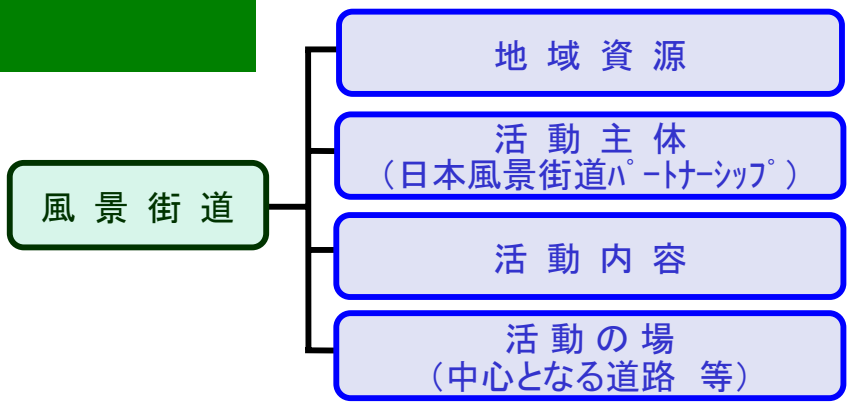
●郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、**多様な主体による協働**のもと、景観、自然、歴史、文化等の**地域資源を活かした国民的な原風景を創出**する運動を促し、もって、**地域活性化、観光振興に寄与**



日本風景街道の仕組み

構成する要素

●日本風景街道を構成する要素としては、地域資源、活動主体、活動内容、活動の場があり、それらを総称して「風景街道」という。



日本風景街道を構成する要素（地域資源）

地 域 資 源

景観資源 | 自然資源 | 文化資源 | 歴史資源 | 体験・交流資源 | 施設・情報資源









◆申請主体

道路ならびにその沿線や周辺地域を舞台とし、地域の資源を活かした多様で質の高い風景の形成等に係わる活動を実施する全ての団体が参加可能。

ただし、日本風景街道に登録をするためには、「風景街道パートナーシップ」が申請主体となる必要がある。

◆登録条件

風景街道を登録するためには以下に示す条件を満たす必要がある。

①風景街道パートナーシップが組織されていること

（注）暴力団その他の反社会的活動を行う団体は除外すること

②日本風景街道の地域資源のうちいずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有していること

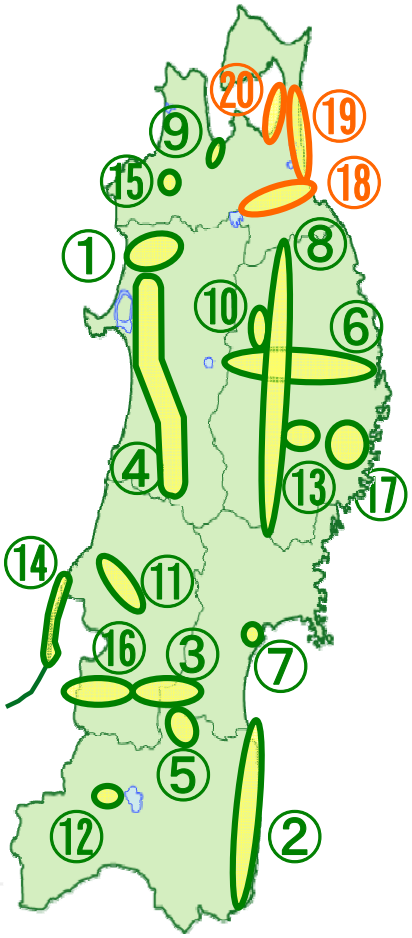
③風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施していること

（注）特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行わないこと

④申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在していること

日本風景街道＜登録ルート一覧＞

東北地域おいて登録されている風景街道～20ルート～　※平成21年12月現在



	風景街道名称	パートナーシップ名称	中心となる道路（主な路線）	県名	延長
①	のしろ白神（しらかみ）の道	のしろ白神ネットワーク	国道7号	秋田	100km
②	ふくしま浜街道（はまかいどう）ハッピーロード	ハッピーロードネット	国道6号、常磐自動車道	福島	145km
③	みちのくおとぎ街道	国道113号観光推進協議会	国道113号	宮城・山形	80km
④	菅江真澄（すがえますみ）と巡るあきたの道	秋田のみち・文化再発見の会	国道13号、国道7号、国道101号	秋田	195km
⑤	桑折宿（こおりじゅく）まちなか街道	奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ	県道国見・福島線他	福島	9.5km
⑥	忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」	秋田岩手風景街道づくり協議会	国道46号、国道106号	岩手	120km
⑦	鹽竈海道（しおがまかいどう）	鹽竈海道まちづくり研究会	(主)塩釜吉岡線	宮城	1.0km
⑧	奥州街道（おうしゅうかいどう）　温故知新の道	奥州街道ネットワーク	国道4号	岩手	185km
⑨	青森エントランスロード	青森エントランスロード景観づくり推進会議	(主)青森浪岡線　他	青森	15km
⑩	巣子（すご）の松街道	巣子の松街道パートナーシップ	国道4号	岩手	6.0km
⑪	出羽の古道 六十里越（ろくじゅうりごえ）街道	出羽の古道　六十里越街道会議	国道112号	山形	30km
⑫	城下町あいづ道草街道	城下町あいづ道草街道推進協議会	国道252号、県道湯川大町線　他	福島	9.5km
⑬	広瀬川せせらぎ緑道（りょくどう）	広瀬川まちづくり倶楽部	(主)北上東和線　他	岩手	0.5km
⑭※	日本海パークライン	みちづくりパートナーシップ「日本海パークライン」	国道7号、国道345号、瀬波1号線	山形・新潟	61km
⑮	弘前まちなか散策街道	弘前市中心市街地活性化協議会	(主)弘前・岳・鰺ヶ沢線、(市)駅前広場・土手町線　他	青森	5.4km
⑯※	越後米沢街道（えちごよねざわ）・十三峠	越後米沢街道・十三峠交流会	国道113号	山形・新潟	71km
⑰	釜石「鉄のみち」	釜石鉄のみちネットワーク	国道283号、国道45号、(主)遠野釜石線	岩手	57km
⑱	十和田奥入瀬浪漫街道	十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会	国道4号、国道45号、国道102号、国道394号、十和田市官庁通り	青森	120km
⑲	奥州街道と縄文のみち	奥州街道と縄文のみち運営協議会	国道4号、国道338号、国道394号、県道8号、県道121号	青森	121km
⑳	黄花紅（おうかくれない）の東むつ湾ルート	黄花紅の東むつ湾ルート景観づくり運営委員会	国道4号、国道279号	青森	37km

⑱、⑲、⑳：平成２１年度登録ルート

○番号は申請順
※印は北陸風景街道協議会と跨り登録されているルート

東北風景街道協議会　委員名簿

氏　　名	役　　職
（協議会会長） 藤　崎　三郎助	東北経済連合会　副会長
小　林　滋　男	日本旅行業協会東北支部　支部長
志　賀　秀　一	（株）東北地域環境研究室　代表
鈴　木　紳　一	河北新報社　営業本部　事業部　事業部長
田　浦　芳　孝	日本観光協会東北支部　支部長
堀　　繁	東京大学　アジア生物資源環境研究センター　教授
松　田　悦　子	元　日本青年会議所東北地区協議会　会長
間　庭　　洋	東北六県商工会議所連合会　常任幹事
宮　原　育　子	宮城大学　事業構想学部　教授
茂　木　淳　一	（社）日本自動車連盟東北本部　事務局長 （敬称略・五十音順）
三　浦　真　紀	東北地方整備局　道路部長
山　下　　勝	青森県　県土整備部長
佐　藤　文　夫	岩手県　県土整備部長
伊　藤　直　司	宮城県　土木部長
加　藤　修　平	秋田県　建設交通部長
鹿　野　正　人	山形県　土木部長
秋　元　正　國	福島県　土木部長
高　橋　秀　道	仙台市　建設局長

（平成21年12月18日現在）